

- ② コロナに負けるな
こんな時だからこそ“できる親切”を
 - 広がる支援の輪
 - 心からの笑顔や感謝を届けよう
- ⑥ withコロナ 正しく防ぐ 楽しく暮らす
 - 知っているようで知らないマスク・手洗いのプチ情報
 - 私たちの「ステイホーム」
- ⑩ 第10回社員総会報告
- ⑪ 緊急提言：ネットでの情報マナー向上は急務の課題
童話作家 新野雄彦
- ⑫ 酔いどれ脳科学
「不安や恐怖とどう付き合う？」
- ⑬ コラム「これってどうなの？」／のんちゃんのおすすめ紹介
- ⑭ Information & HIROBA



表紙写真

- ①：函館支部小笠原代表より、
(株)エヌボシ・ノムラ様へ実行章贈呈
- ②：手作りマスクの寄贈先より感謝の
メッセージ (3頁参照)
- ③：もみじ銀行本店に置かれた感謝の花
- ④：ブルーインパルス感謝飛行
- ⑤：コロナ終息を願うアマビエビール
(鳥取県・大山Gビール)
- ⑥：ブルーライトアップで病院を
応援 (5頁参照)

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2020年8月1日発行 通巻519号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL. 03-3263-2866 FAX. 03-3263-3838
<https://www.kindness.jp/>

印刷所 広研印刷株式会社

© 無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

デザイン・DTP 有限会社リトルフット

イラスト P12：清水 穂／P13：安彦麻理絵

恒さんが行く!



コロナニモマケズ

全 人類を襲撃する新型コロナウイルス感染症。今年の春を前に日本に上陸した恐るべき病弊の発症率は、国民の皆さんの努力で、先進国の中でも稀な低レベルを維持できているが、果たしてこの先どのように推移していくのか。不吉な予測をしたくないことは当然だが、人間社会がこの新しい危機を脱するまでに、あと何年かかるのだろうか。

その一方、人類は近年、全く新しい文明創出の成果を展開していることはご存じの通りだ。AI(人工知能)の開発・展開をはじめとして、工学、化学、医療、環境、文化などあらゆる分野で、新時代の変革がスピードを増している。人々の生活には「新しい日常」が求められ、「働き方改革」の実現も目立つ。政府の緊急事態宣言以来、「3密」排除のためのオンライン化。情報取得の速さ、量は想像を絶するものがある。

人 と人との間の直接的な触れ合いが減っていく中で、人間関係が崩れ、他人への心配より、自己中心主義が知らず知らずのうちにびこっていかないか。そんな思いが頭の中で行き来したある日、私は自分のカバンの中の手帳に挟み込んでいるコピーを開いて、改めて胸に大きな感動を感じた。

それは宮沢賢治の“雨ニモマケズ”。実はこの詩のことは、3年前の平成29(2017)年5月発行の本誌のこの欄に拙文を書かせていただいているので、ご記憶にあられる方も多いかも知れず、お許しをいただきたいが、私がこの詩をいつも繰り返し読みしめ

ているのは、敬愛の念を抱き続けている私の長兄のおかげ。賢治と同じように農家に生を受けた兄は、幼いころから賢治の残したものに心酔。生前に残したオーラルヒストリーの中で、こう述べている。

『私は、宮沢賢治に惚れ込んでいましてね。彼に関係した本は、書庫にほぼ全部持っていますよ。彼のどんなところが良かったって？ やっぱり裸の人間の飾らない生活、彼の作品に魅せられますね。実は財布の中に詩を入れているんです。“雨ニモマケズ”の詩です。』(抜粋)

長兄・勲は没して3年余りになりますが、何代か続いた農家から製薬会社に移り、今も残る名歯磨き剤を開発し、世に残した男。私は兄をまねてコピーをいつも手帳の中に。

東 西、南、北に苦しみや疲れ、死の恐怖、争いごとに追われる人がいれば助けなどに走り回り、それでも『ミンナニデクノボートヨバレ ホメラレモセズ クニモサレズ サウイフモノニ ワタシハナリタイ』。

この人間性の深さ。私はこの詩を改めて読みしめて、思う。「コロナニモマケズ」……。そして、次の一節も読みしめたい。

『慾ハナク 決シテ瞋ラズ イツモシヅカニワラツテイル アラユルコトヲ ジブンヲカンジョウニイレズニ』

私たちの運動に通じる思いが……。